



## 音更高校開放講座

### 小学生がジャンボ書道

### 弦楽器を体験

音更高校開放講座は、音更高校ならではの特色ある教育環境と施設を生かし、学ぶ機会を町民の皆さんに提供しています。今月号では、夏休み期間中に行われた小学生を対象とした2つの講座を紹介します。

### ジャンボ書道講座

7月31日(日)、小学3年生から6年生までを対象に「小学生ジャンボ書道講座」が音更高校の書道教室で開催され、7人が参加しました。

同校の田原教諭を講師に迎え、書道部員6人がスタッフとしてお手伝いしてくれました。

初めに田原教諭から筆の扱い方や書き方の説明があり、90センチ×120センチの大きな紙に、

大きな筆を使ってジャンボ書道に挑戦しました。

参加者は、あらかじめ考えてきた自分の書きたい漢字を書道部員の丁寧なサポートを受けながら、集中して筆を運びました。

想像以上に大きく重たい筆の扱いに、戸惑いながらも力いっぱい、伸び伸びと書道を楽しみました。

書き上がった作品は参加者それぞれの個性が文字に現れ、いずれも素晴らしい出来映えでした。



▲はみ出しても大丈夫！

参加者からは、「夏休みの思い出になった」「楽しかった。また参加したい」と感想を話してくれました。

この講座は、体験を通して書道の楽しさを学べるだけでなく、小学生と高校生のコミュニケーションが図られる貴重な機会であり、双方にとっても大変良い経験となりました。

### 弦楽器体験講座

8月20日(土)、小学生を対象に「弦楽器体験講座」が音更高校管弦楽局室で開かれ、1年生から6年生まで12人が参加しました。

同校管弦楽局顧問の佐藤教諭、加藤教諭を講師に迎え、管弦楽局に所属する生徒の皆さんもスタッフとしてお手伝いしてくれました。また、同校の外部講師にもご協力いただきました。

初めに佐藤教諭からバイオリンの弓毛は、馬の尻尾の毛が使われていることや、昔は、羊の腸が弦に使われていたことなど、クイズ形式で説明があり、動物と関わりが深い楽器であることを学びました。

次に実際にバイオリンに触れ、楽器の扱い方、演奏時の姿勢や弓の持ち方、音の出し方などについて、講師から分かりやすい説明と丁寧な指導を受け、受講生は、戸惑いながらも、生徒の皆さんのマンツーマンのサポートで、音出しに挑戦しました。

4本ある弦のうち2本の弦

を使い、「レ」と「ラ」の2つの音階を弾く練習を行い、講座の締めくくりとして、最後に講師と受講者との合奏を行い、練習の成果を実感しました。

受講生からは、「弓の持ち方が難しかった」「楽器を肩と顎で固定するのは大変」「初めてだけど音が出せてうれしかった」などの感想が聞かれました。バイオリンに触れる貴重な機会を得て、受講生は一様に満足した表情を浮かべていました。



▲ちょっと緊張しながらバイオリンを演奏します

## バスで巡る町外施設 高齢者大学社会見学

高齢者大学（すずらんカレッジ）では、月1回の学習日（講習）が設定され、午前と午後、1講座ずつ学習を行っています。内容は一般教養、健康と生きがい、郷土と自然、社会の仕組み、ふるさとづくりなど幅広いものとなっています。講義形式ばかりでなく、1年に1回は町内はもとより町外にも足を延ばして施設などへ見学に出かけます。

その社会見学を8月26日（金）に実施しました。雨交じりの曇り空の日でしたが、池田町にある十勝川資料館、ワイン城・ワイン工場、浦幌町立博物館を訪れました。どの施設でも職員の皆さんに丁寧な説明をしていただき、ただ見学するだけでは分からないことを知ることができ、とても良い学習の機会となりました。それぞれの見学時間の設定が短く、慌ただしい見学になってしまい、「もう少しじっくり見たかった」との感想が学生たちから聞かれました。十勝川資料館は一般的にはあまり知られていない施設で

あり、浦幌町立博物館には世界的にも珍しい地層についての展示があるなど一見の価値がある施設でした。



▲十勝川資料館での見学

## おいしい野菜を収穫 子ども体験隊

子ども体験隊は、さまざまな体験を通じて地域の産業や文化への興味を広げ、積極的に関わる態度を育てることを目的に、毎月1回開催しています。

9月3日（土）は、ふれあい農園で収穫祭を開催しました。5月の開講式の後に種をまいたトウモロコシ、ニンジン、タマネギ、枝豆、ジャガイモの収穫作業を体験し、取れた

てのトウモロコシと枝豆を茹でて、みんなで試食しました。参加者は「タマネギを収穫したのは初めて」「トウモロコシが甘くておいしかった」と感想を話していました。

昨年は新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言のため中止となりましたが、今年は天気にも恵まれ、自分たちの手で収穫した袋いっぱい野菜を家族へのお土産に持ち帰りました。

この日は時期がまだ早く収穫できませんでしたが、今年はサツマイモも植えています。少し土を除けて、順調に育っている様子を観察しました。10月の体験隊で収穫する予定で、みんな今から楽しみにしています。



▲トウモロコシを収穫する隊員

## 町内史跡めぐりツアー募集

町内の貴重な歴史的文化的遺産などをバスで巡るツアーを開催します。

▷と き 10月22日（土）、午前10時～午後0時30分

※雨天決行

▷集合場所 生涯学習センター

▷巡行箇所 旧国鉄士幌線駒場駅および音更駅跡、武儀団地、江波団地（車窓から）および矢部団地入植地

▷対象 町内在住、在勤の人

▷定員 10人（先着）

▷説明員 音更郷土史研究会会員、学芸員

▷参加料 無料

▷申込方法 10月3日（月）からの平日、午前8時45分～午後5時30分に電話で申し込みください。

申込・問合せ 教育委員会生涯学習課（内線774）

## 「旧国鉄士幌線」特集がスタート

カムカム写真展では、今までに「木野市街」「音更市街」「駒場・万年地域」の町並みが記録された写真を2カ月ごとに入れ替えて展示し、多くの人にご来場いただきました。また、写真にまつわる情報のご提供ありがとうございました。

本町はもとより十勝の発展に大きく貢献した「旧国鉄士幌線」を特集します。列車や駅舎の写真のほか、糠平ダムができる前の士幌線の姿が記録された貴重な写真も展示します。皆さんのご来場お待ちしております。

▷と き 10月3日（月）～11月30日（水）、午前9時～午後5時30分（入館は午後5時まで）

※水曜日は休館（祝日の場合は翌平日）

▷ところ 生涯学習センター